
一 般 質 問 通 告 書

第 1 8 7 回浦添市議会定例会
(平成 3 0 年 1 2 月)

1.	古波蔵	保 尚	・ ・ ・ ・ ・	1	12 月 7 日
2.	濱 崎	早 人	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
3.	比 嘉	克 政	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
4.	又 吉	正 信	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
5.	松 下	美智子	・ ・ ・ ・ ・	2	〃
6.	金 城	大 輔	・ ・ ・ ・ ・	2	12 月 10 日
7.	當 間	清 春	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
8.	仲 里	邦 彦	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
9.	仲 間	烈	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
10.	下 地	秀 男	・ ・ ・ ・ ・	4	〃
11.	稲 嶺	伸 作	・ ・ ・ ・ ・	5	12 月 11 日
12.	西 銘	健	・ ・ ・ ・ ・	6	〃
13.	伊 礼	悠 記	・ ・ ・ ・ ・	8	〃
14.	田 畑	翔 吾	・ ・ ・ ・ ・	10	〃
15.	銘 苅	良 二	・ ・ ・ ・ ・	13	〃
16.	大 城	翼	・ ・ ・ ・ ・	13	12 月 12 日
17.	當 間	左知子	・ ・ ・ ・ ・	13	〃
18.	伊 礼	研 一	・ ・ ・ ・ ・	14	〃
19.	比 嘉	武 宏	・ ・ ・ ・ ・	15	〃
20.	新 垣	有 太	・ ・ ・ ・ ・	15	〃
21.	亀 川	雅 裕	・ ・ ・ ・ ・	16	12 月 13 日
22.	真栄城	玄 誠	・ ・ ・ ・ ・	16	〃
23.	下 地	惠 典	・ ・ ・ ・ ・	16	〃
24.	上江洲	徹 也	・ ・ ・ ・ ・	17	〃
25.	又 吉	謙 一	・ ・ ・ ・ ・	17	〃
26.	護得久	朝 文	・ ・ ・ ・ ・	18	12 月 14 日

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
1 古波蔵 保 尚	1 市長の政治姿勢について (1) 公約を破り退職金を受け取る考えかを伺う。 (2) 市長専用車について伺う。 (3) 9月議会での私の質問に対する答弁で空転させた責任について伺う。 (4) 県民投票実施に向けた取り組みを伺う。 (5) 浦添市上空を飛行する危険なオスプレイ及び米軍機の危険性についての見解を伺う。 (6) ANA SPORTS PARK 浦添等への除草剤散布による被害について (7) 西海岸開発に対する市長の政治姿勢について 2 福祉・教育行政について (1) 保育行政について ①待機児童ゼロの達成時期について伺う。 ②保育施設の安全性は確保されているかを伺う。 (2) 教育長の資質について伺う。 (3) 少年野球への支援策について伺う。 3 市道仲間3号線整備の進捗状況を伺う。 4 県道浦添西原線あかひらステーション前及び市役所入口への滑りどめ舗装について伺う。 5 自治会加入率向上への取り組みを伺う。
2 濱 崎 早 人	1 指定管理者制度について (1) 市内公園の除草剤散布への本市の見解と対策について 2 児童虐待防止推進月間の本市の活動と現況について 3 県道251号線の道路拡張整備状況と今後について 4 那覇軍港移設並びに西海岸開発について 5 本市における風疹感染の現状について
3 比 嘉 克 政	1 西海岸開発について伺います。 (1) 今後どのように進めていくのか伺います。 (2) 新知事、那覇市長との3者協議の早期実施について 2 来年夏頃に開業予定のサンエーパルコへの交通アクセスについて伺います。 (1) キャンプ・キンザー（牧港補給地区）内道路使用はできないか。
4 又 吉 正 信	1 モノレール駅周辺における土地区画整理事業の取り組みについて (1) 3カ所の駅周辺開発の進捗状況について (2) 経塚駅周辺の開発について (3) 浦添前田駅周辺の開発について (4) てだこ浦西駅周辺の開発について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	2 創業者定着支援事業について (1) 対象者へのハンズオン支援について伺います。 (2) ビジネスコンテストの開催について (3) ステップアップセミナー等の開催について (4) 支援ネットワーク構築に向けた取り組みについて
5 松 下 美智子	1 市内幼稚園、小中学校の危険なブロック塀の撤去・改修の取り組みについて 2 ANA SPORTS PARK 浦添での除草剤使用問題について 3 母子・父子ひとり親家庭の支援について (1) 医療費助成の給付方法について ①現在の状況について ②現物給付実現への取り組みについて 4 高齢者肺炎球菌ワクチンについて 5 耳のきこえの不自由な方への支援について (1) 市の公共施設へのヒアリンググループの導入について (2) 聴覚障がい者の方のコミュニティーの場をつくることについて 6 市役所の各課直通ダイヤル導入の進捗状況についてお伺いします。 7 学童保育への支援についてお伺いします。 8 仲西小学校のプール老朽化による危険箇所の改修の取り組みについてお伺いします。
6 金 城 大 輔	1 海浜公園の整備について (1) 海浜公園の早期の駐車場整備について (2) 海浜公園の駐車場からの海の出入りについて 2 里浜の保全と活用のためのガイドラインの内容について 3 市道牧港港川線の道路の整備状況について 4 港川小学校の通学路となっている裏門の通りの児童の安全対策について 5 牧港の明治乳業からパイプラインにかけての通りの夜の歩行者安全対策について 6 教育旅行民泊の状況について 7 地方分権と開発行為について (1) 開発行為に関する業務について、沖縄県から権限移譲することの法律上の可否と、権限移譲した場合の意義とその効果について (2) なぜ、今日まで開発行為の権限移譲が見送られてきたのか、その具体的な理由について (3) 権限移譲が可能な場合、その実施までに必要な手続等の具体的な内容の詳細と本市での実施時期について (4) てだこ浦西駅周辺の市街化調整区域を市街化区域に編入する計画の有無と、その場合の課題及び実施時期について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	8 コンパクトシティ構築に対する本市の考えについて 9 災害時の対策について (1) 災害時の市役所及び避難所の非常用電源について (2) 本市における防災行動計画（タイムライン）の策定状況について
7 當 間 清 春	1 教育行政 (1) エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業 ①人材育成及びキャリア教育事業の内容について ②成果と課題について ③今後の取り組みについて 2 沢岨地域内の中頭方西海道付近のハブ対策について 3 第41回てだこまつりについて (1) 来場者数について (2) 総括と課題について (3) 帰宅指導について 4 浦添南第二地区土地区画整理事業について (1) 進捗状況について (2) これからの課題について
8 仲 里 邦 彦	1 浦添市のまちおこし活性化について (1) 浦添の地酒「泡盛・寶船」を復活させることについて (2) うらそえ物産展の定期的な開催について 2 モノレール事業関連について (1) 工事の進捗状況について (2) モノレール駅から西地区へのバス運行の連結について（バス路線東西線の創設） (3) 中学生、高校生の通学におけるバス運賃並びにモノレール運賃無料化について 3 実施時期変更による「てだこまつり」の状況と課題 4 公園等の公共施設への除草剤散布について新聞紙上に掲載された一連の経緯と今後の対策
9 仲 間 烈	1 浦添南第一地区土地区画整理事業について (1) 国際センター線の植樹について (2) グリーンハイツ入口と接続する横断歩道の設置について 2 学童クラブについて (1) 学童クラブの運営方法について (2) 沢岨小学校内に建設している学童について 3 前田幼稚園園舎増築の進捗状況について 4 保育園、幼稚園、認定こども園を利用しない就学前の児童への支援について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	5 保育園の入所待ち児童への支援について 6 前田地域内の貯水タンクの耐震について 7 特定健診の実施状況について 8 A N A S P O R T S P A R K 浦添内に宿泊施設を建設することについて 9 浦添中学校前の希望の花園（花壇）にある市の広告塔について
10 下 地 秀 男	1 S D G s（エスディージーズ）のその後の取り組みについて （1）平成30年3月議会において、企画部長の答弁で「市民などへの周知を図り」とありましたが、その後の取り組みについて （2）小学校、中学校での取り組みについて 2 キャンプ・キンザー第5ゲート付近の返還される土地の有効活用について （1）平成30年9月議会で「返還用地を活用して西洲と国道58号を結ぶことによる土地の有効利用を図ることにつきましては、一括交付金を活用した土地の先行取得事業の目的との整合性を図る必要がある」との答弁がありました。用地の確保について伺う。 3 那覇軍港の移設について （1）11月26日に松本市長は玉城デニー知事を訪ねて、「知事との対話」を申し入れしていることについて 4 指定管理について （1）A N A S P O R T S P A R K 浦添について （2）A N A まじゅんらんど 浦添について 5 地域猫について （1）自治会、ボランティア団体、動物病院に御協力いただき、「公益財団法人どうぶつ基金」や「さくらねこ無料不妊手術事業」の支援を受けるなどの取り組みがあることについて 6 新・放課後子ども総合プランについて （1）浦添市学童保育の現状と課題について （2）神森小学校プールと併設の学童クラブ建設予定について 7 ごみ行政について （1）事業系ごみの収集について （2）浦添市空き缶・吸い殻等のポイ捨て防止による環境美化促進条例について 8 難聴者・中途失聴者への支援について 9 通学路及び歩行者の安全対策について （1）学校敷地内と通学路・民間敷地内のブロック塀の安全対策について （2）沢岬大橋のたもとの手すりの腐食について （3）パイプライン線の内間2丁目23番から古島までの歩道に点字ブロックがないことについて

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
11 稲 嶺 伸 作	1 ANA SPORTS PARK 浦添（浦添運動公園）の運営管理について (1) 受託企業の下請け会社による除草作業の一連の問題について、原因をどう考えているか。 (2) 土壌・水質検査の結果と周辺住民の健康への影響について (3) 原因を踏まえた再発防止対策を伺う。 (4) 問題を起こした関係者の責任の取り方について (5) ネーミングライツを使用する全日空へのおわび、全日空の受けとめかたについて (6) 運動公園内の美観、清掃、保全、警備など市民が気持ちよく利用できる体制について見解を伺う。 2 ANA ARENA 浦添（浦添市民体育館）の運営管理について (1) 以前から指摘されている雨漏り箇所の補修計画を伺う。 (2) 館内の空調機と換気設備の設置について (3) 体育館側の不備により使用目的を果たせなかったときの返金について (4) 大会等の準備を考慮し、施設利用開始時間の前でも他市同様に使用できないか。 3 ANA FIELD 浦添（浦添市陸上競技場）の施設管理について (1) 陸上競技場トラックの陥没補修について 4 ANA まじゅんらんど 浦添の施設管理について (1) 低中温採暖室の傷んだ天井板の取りかえが進まない理由を伺う。 5 小中学校体育館の空調機設置について (1) 小中学校体育館の空調機設置数と設置率を伺う。 (2) 小中学校体育館に空調機設置ができないか。 6 市ホームページによる情報発信について (1) 各部署が市ホームページに情報を掲示する際に、統括する部署はどのように関与するのか。 (2) 未発信・誤発信の防止策について 7 浦添市の物産展について (1) 市で開催する物産展の現状について伺う。 (2) 「沖展」で市物産展が開催できないか。 8 TNRの取り組みについて (1) TNR活動の進捗状況を伺う。 (2) 市公共施設内でTNR活動を紹介するパネル展示の実績について 9 県道153号線（経塚通り）からグリーンハイツをつなぐ幹線道路の開通計画について 10 浦添市クリーンセンター溶融施設水蒸気爆発の原因究明と再発防止について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
12 西 銘 健	1 全ての子どもが希望する保育所に通うことができるよう保育所を増設し、保育士の賃金を抜本的に引き上げて処遇の改善を図ることについて (1) 平成31年度に向けて何人の入所申請があり、何人が入所できるか。 (2) 今後の具体的な保育所整備計画について伺う。 (3) 今年度で小規模保育園を卒園する子どものうち何人が新しい保育園への入園を希望し、何人が内定しているか。全ての子どもが希望する保育園に入園することができるようにすべきだが、取り組みを伺う。 (4) 保育士の処遇を改善するために支援を拡充すること 2 内間地域に建設予定の保育園を運営する社会福祉法人が子どもたちに教育勅語を唱和させていたという過去の報道などがあります。戦前、子どもたちは教育勅語を暗記、暗唱させられ、その教えのとおりに地獄のような戦場へと駆り出されていきました。その反省から1948年には国会で教育勅語の排除、失効決議がなされています。衆議院の排除決議は勅語の「根本的理念が主権在君並びに神話的国家観に基づいている事実は、明かに基本的人権を損ない、且つ国際信義に対して疑点を残す。」と指摘して教育勅語の排除を求め、政府もこれに応じた経緯があります。浦添市において過去の戦争を肯定する教育や保育がなされることがあってはなりません。 (1) 内間地域に建設予定の保育園を運営する社会福祉法人が子どもたちに教育勅語を唱和させたというのは事実か。また、保育時間中に君が代を流しているという事実があるか。 (2) 教育勅語に対する市長の見解を伺う。 (3) 市としてどのように対応するのか伺う。 3 市民不在の神森幼稚園の認定こども園移行を中止することについて 4 学童クラブ支援を拡充することについて (1) 新年度に向けて何人の待機児童が出る予想か。また、これを解消するために学童クラブをいくつ増設する必要があるか。 (2) 児童の放課後の居場所がなくなることがあってはなりません。市として待機児童を出さないための具体的方策を伺う。 (3) 待機児童が予想される全ての校区において、早急に公的施設入居を進めること (4) 分離新設を促進する移転関連費用及び家賃全額補助を実施すること (5) 低所得者でも学童クラブを利用できるように保育料を補助すること 5 ベビーカー、ベビーベッド、チャイルドシートなどの無料貸し出し、粉ミルク、紙おむつ、ランドセルなどを支給する事業を実施することについて 6 無料低額診療事業における浦添市独自の調剤処方費補助制度を創設することについて、パーキンソン病を患う市民から「お金がなく

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	て薬を買うことができない。」との相談を受けました。手の震えがひどく早急に薬が必要な状態でした。那覇市の医療機関に電話をして調剤処方費補助制度の利用を相談しましたが「対象是那覇市民だけ」と断られました。調剤処方費補助制度は、予算は小規模でも、実施をすれば市民の命を守ることに繋がります。 (1) 市内の無料低額診療事業を実施している医療機関で、受診後、お金がなくて薬を買うことができないという事例があるか。 (2) 無料低額診療事業における調剤処方費補助制度を創設することについて、去る3月議会で部長は「検討する」と答弁しています。進捗を伺う。 7 高すぎて払いたくても払えない国民健康保険税を引き下げて誰もが安心して病院に行けるようにすることについて (1) 政策的繰り入れをこれまでどおり行い、国保税の引き下げを行うこと (2) 全国知事会は、1兆円の公費負担増を政府に要望しました。浦添市も政府に公費負担の増額を求めて、平等割や子どもが多くなるほど負担がふえる均等割を廃止することについて 8 発達障がい児支援を拡充することについて (1) 兼務で行われている特別支援教育コーディネーターを専任化すること (2) 特別支援教育ヘルパーの処遇を抜本的に改善し安定的かつ継続的な支援を行うことについて ①年度当初、何人の特別支援教育ヘルパーが不足していたか。現在は、全て充足しているか。 ②特別支援教育ヘルパーの研修がどのように行われているか伺う。 ③特別支援教育ヘルパーの処遇を抜本的に改善すること (3) 健診事後教室を充実させて早期発達支援、保護者の不安軽減を図ること 9 幼稚園教育を拡充することについて (1) 本務教諭を採用すること (2) 3年保育を全園で実施すること (3) 給食を早急に全園で実施することを去る9月議会において求めた際、部長は「残り2園についても実施に向けて取り組んでいる」と答弁しました。進捗を伺う。 (4) 臨時職員の処遇を抜本的に改善すること 10 P F O Sによる水道水汚染は深刻です。長期にわたり市民が汚染にさらされている恐れがあります。米軍にP F O Sなどの有害物質の使用をやめさせて、市民に安全な水を供給することについて (1) 軍転協として在沖米軍及び内閣総理大臣に対して、調査へ協力することと適切な対応策を要請したとのことですが、進捗を伺う。 (2) 本市において北谷浄水場から給水されている地域と人口とその割合。またP F O Sなどの危険性を伺う。 11 自然破壊で税金の無駄遣いの西海岸の埋め立てと、市民の命と安

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	全を脅かす軍港建設をやめて、キャンプ・キンザーを返還させて平和で自然豊かな経済的に自立する新しい浦添市を実現することについて (1) 去る9月議会で、観光や経済振興と軍港が両立すると考えているのかとの問いに市長は「両立できる」と答弁しています。具体的にどのように両立できるのか伺う。 (2) 市長はなぜ浦添市に軍港が必要と考えているのか問う。 12 市内公園で発がん性が指摘されている除草剤を散布したことが明らかとなり、市民から不安と怒りの声が上がっています。市民が憩う公園に危険な除草剤を散布することは市民の健康と生命を軽視していると言わざるを得ません。二度とあってはならないことであり、市長の責任が厳しく問われます。 (1) 除草剤が使用された経緯及び対応を伺う。 (2) 散布場所の土壌や水質の調査を行い、その結果を公表し安全対策をとること (3) 市民の健康被害及び施設を利用できない不利益に対する対応を伺う。 (4) 今後、公共施設内で除草剤散布を行わないよう実効性のある対策を講じること (5) 施設の管理及びチェック体制について 13 台風24号で崖が崩れた仲西の急傾斜地が依然として危険なままです。早急に安全対策を講じることと、急傾斜地対策工事を実施することについて 14 市内ショッピングセンターでの期日前投票の実施を予算委員会などで継続して求めてきました。平成29年の予算委員会において当時の事務局長は「前向きに検討したい」と答弁をし、今年の予算委員会で事務局長は知事選に「間に合わせるスケジュールで取り組んでいきたい」と答弁しました。投票率向上に向けて市内ショッピングセンターでの期日前投票を実施することについて (1) 来年2月14日告示の県民投票に間に合わせて、サンエー経塚シティでの期日前投票を実施すること (2) さらに投票場所をふやすことについて
13 伊 礼 悠 記	1 学校や通学路、公共施設等の危険なブロック塀対策を早急に行うことを前回9月議会において求めたところ、「準備が整い、その事業費等の積算が整えば早急に財源の措置を検討してまいりたいと考えております。」と答弁がありました。進捗について伺います。 2 ANA SPORTS PARK 浦添（浦添運動公園）内の広場に除草剤が散布されていたことが近隣住民の指摘で発覚し、新たに公園や学校にも散布されていたことが明らかになりました。子どもたちや市民が利用する公共施設に除草剤を散布するべきではありません。市の管理体制はあまりにもずさんであり、市民を危険な状況にさらした市の責任は重大です。 (1) 農薬散布の事実関係と調査結果の具体的な内容、安全対策について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(2) 土壌や水質の調査結果を公表し、土壌の入れかえも検討すること (3) 再発防止に向けた実効性のある抜本的な対策を講ずること (4) 指定管理者の指定を見直すことについて (5) 土壌や水質調査など「税金を使うべきではない。」という市民の意見に対する見解について 3 当山小学校の分離新設校を早期に実現することについて 4 市民からスケートボード場の整備を求める声が寄せられています。市内でスケートボードをする子どもの人口がふえています、スケートボード場がある運動公園は安全上の課題や、市内の遠方からの利用は子どもだけでは難しい状況です。市民のニーズに応えたスケートボード場の整備を求めます。 (1) 運動公園内のスケートボード場の安全対策と、利用者の求めに応じた整備を行うことについて (2) 公園内の一部を舗装してスペースを確保することについて (3) モノレールでだこ浦西駅の高架橋下のスペースをスケートパークとして整備することについて 5 沖縄県の辺野古の埋め立て承認撤回に対し、国が効力の執行を停止しました。知事選で示された圧倒的民意も、法律に基づいて権力を行使するという政治原則も乱暴に踏みこむ暴挙です。民主主義も法治主義もないがしろにした不当・違法な決定に基づく埋め立て工事の再開は到底許されるものではありません。執行停止決定は直ちに撤回すべきです。市長の見解を伺います。 6 辺野古の県民投票条例の制定を求める署名が 10 万筆を超え、有効署名数 9 万 2,848 と法定数をはるかに上回り、「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」が制定されました。主権者である県民による直接請求によって成立したもので、直接民主制による住民投票は最大限尊重されなければなりません。投票事務の義務を負う市長の対応と県民投票に対する見解について伺います。 7 戦争体験世代が減りゆく中、戦争を風化させず次世代へ語り継ぐため、沖縄戦の実相を伝える取り組みを強化することが求められています。沖縄戦で最大の激戦地と言われた浦添において、当時の人口約 9,200 人のうち戦争で亡くなった方は 4,112 人で実に 44.6% の住民が犠牲になり、一家全滅率は 23%にも及びます。凄惨さを極めた沖縄戦・浦添戦の戦争体験を継承し、平和を希求する沖縄の心を発信するために平和資料館の設置と、資料や戦争体験者の証言を記録保存しネットで公開するデジタル資料館を開設することについて 8 公立幼稚園から認定こども園へ移行することに対し、「保育料が上がるので負担が大きい。」「給食費も高くなり、外部搬入となる。」など保護者から不安の声が寄せられています。保護者の経済的負担がふえることはあってはならず、また市民の理解が得られないまま認定こども園に移行することを認めることはできません。 (1) 保育料が引き上げとなる階層と保育料について

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(2) 仲西こども園へ移行する前と移行した後の保育料について (3) 給食について 9 ひとり親家庭の支援を拡充することについて (1) 高校生等の通学費を補助する事業について (2) 日常生活支援のヘルパー派遣の回数をふやすことについて 10 発達障がい児関連複合施設の整備について (1) 具体的な進捗状況と今後のスケジュールについて (2) 当事者の声を反映した施設を実現すること
14 田 畑 翔 吾	1 安倍政権が来年10月、消費税10%への増税を狙っています。消費税は30年前に始まり、3%、5%、8%へと引き上げられました。「安定財源の確保」や「社会保障対策」が理由でしたが、実態は消費の落ち込みや景気悪化を招いてきました。特に、社会保障は改悪に次ぐ改悪の連続で、安倍政権になってからの6年間だけでも、高齢化などで必要な社会保障予算のカットや抑制、年金、医療、介護の制度改悪で、社会保障予算は3.9兆円も削減された一方、毎年ふえ続けた防衛費は3年連続で5兆円を超えました。消費税導入から2017年までの消費税収は累計349兆円に上るのに対し、減税などによる法人税の減収は281兆円です。つまり、消費税収の8割は法人税減税・減収の穴埋めに使われました。実際に、安倍政権だけでも大企業に4兆円以上の減税をしています。さらに深刻なのが、2023年から導入されるインボイス制度です。この通知を発行できないと、課税業者は免税業者からの仕入れ税額控除ができません。その結果、取引を断られる危険があるため、たとえ年商1,000万円以下の免税業者であっても課税業者となり、自己負担をしてでも納税することを事実上強いられます。断固として容認できません。軽減税率も問題です。食料品などの税率を8%に据え置く複数税率の導入は、軽減でも何でもありません。外食は10%の税率、持ち帰りは8%になるため、飲食施設のあるスーパーやコンビニでの混乱は必至です。小売店にとっては複数税率に対応する専用のレジを準備する必要があり、その費用も深刻です。問題は、これらの対策が増税による消費者や中小業者の負担を緩和するどころか、逆に費用や手間をふやすものばかりで混乱にさらに拍車をかけるという点です。消費税増税ではなく、税金の集め方、使い方を見直し、大企業や富裕層を優遇する不公平税制こそ正すべきです。低所得者ほど負担が重い消費税は、深刻な消費不況の中、景気をさらに後退させ、格差と貧困を広げる最悪の政策であり、増税は中止すべきです。 (1) 10%増税による市民への影響について (2) 市内にある免税事業者は何か所か。 (3) 市長として、市民生活を破壊する10%の増税はやめるよう国に対し求めることについて 2 教職員の長時間労働が社会問題になっています。その是正は、労働条件の改善として緊急であり、子どもの教育条件として極めて大切な国民的課題です。昨年、ついに政府も「教員の長時間勤務の早

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	急な是正」を掲げました。しかし、その対策は肝心の教員増がないどころか、1日9時間近い所定労働時間を学期中の一般的な働き方として想定する「変形労働時間制」の導入も示唆しました。長時間労働の是正を求める現場の声に応えるものになっていません。本市においても、直近3カ月間で過労死ラインである月80時間を超える最長時間の勤務者が、小学校で124時間、中学校では161時間でした。教職員の健康を守ることは、子どもたちを守ることにもつながります。命に関わる重大な問題である以上、行政として早急に取り組むべきです。教員の多忙化をなくすことについて (1) 直近3カ月間における、過労死ライン月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について (2) 直近3カ月間における、健康障害リスクを伴う月45時間を超える残業を行っている教職員の割合について (3) 直近3カ月間における、公立小中学校教職員の最長の勤務時間について (4) 45分休憩の取得徹底について (5) 策定中の学校業務改善計画の進捗状況について (6) 本務採用をふやし、本市としても必要な教職員の増員に独自に取り組むことについて 3 浦添市社会福祉協議会は、住みなれた街で誰もが安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」を推進することを使命とし設立されました。若年層の孤立やひきこもり、ニート、孤独死や自殺等の社会的孤立、経済的困窮や低所得問題、児童や高齢者への虐待、災害時における要援護者支援等、地域における生活や福祉問題等はますます多様化し複雑化しています。平成30年4月1日現在、127人の職員体制で本市におけるこれらの課題解決に向け全身全霊を注いでいます。しかし、人件費支払いによる基金の取り崩し、築35年が経過し老朽化の進む建物の修繕費用、施設整備のための積立金も取り崩す状況が続いており、最近では事業の見直しも行われています。このまま推移すれば、2020年度には基金がなくなり、本市社協の存続が見通せない危機的状況です。一刻の猶予もありません。 (1) 団体補助金の増額について (2) 現在策定中の地域福祉計画の中身について (3) 職員の雇用確保のために人件費補助を行うことについて (4) 本市として取り組むべき課題について (5) 平成29年3月議会において私が、本市社協の実態を伝えた上で今後の展望をどのように考えているかについて質問した際、市長は、「厳しい財政状況を何とかやりくりしながら、今後ともさまざまな視点でのさらなる支援に努め、社協と共同した地域福祉の推進を図ってまいらる」と答弁しました。この間、市長が行ってきた「さらなる支援」「努力」とは何か伺う。 4 世論の声に押され2018年から始まった返済不要の「給付制奨学金制度」。しかし、国の奨学金制度を担う「日本学生支援機構」が、住民税非課税などを証明する今までの書類に加え、申請者にあらたに「資産の申告」を求めています。通帳のコピー、たんす預金、ロ

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	ーン、金・銀延べ棒の有無などの記入欄があり、「ここまでさらけ出さないといけないのか。見せしめ、いじめだ」と、現場からは怒りの声があがっています。月額2万円から4万円の給付に対し、対象者は全国の生徒数のわずか2%です。奨学金が返済できず自己破産する人は急増し、2016年度は3,451人と過去最多となりました。憲法第26条は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」としています。返済のいない給付型奨学金を早期に実現することについて (1) 前回議会で、給付型奨学金の創設について部長は、「新たな奨学金を作った場合、根拠、内規を作って、どういった子どもたちへ奨学金を給付するのか。いくら給付するのか。限られた基金の中で運用できるのかを含めて調査研究したい。」と答弁しました。具体的な進捗を伺う。 5 今年10月、沖縄県と市町村で未就学児の子どもの医療費を対象に、入院・通院ともに公費で負担する「こども医療費助成事業」が始まりました。子を持つ親からは「ありがたい」「安心して病院に行ける」など、喜びの声が聞こえてきます。厚生労働省の調査によると、中学校卒業以上まで医療費の助成を実施している全国の市町村は、通院外来で約86%、入院は90%以上に達している一方、入院・通院費ともに中学卒業まで助成する方針を固めているのは、沖縄県内41市町村のうち約5割にとどまっています。また、今年10月、「子ども医療費助成制度の拡充等を求める意見書」が沖縄県議会において全会一致で採択され、県内の地方議会においても陳情書が16自治体で採択されました。沖縄県における子どもの貧困率は、29.9%で全国平均の倍以上となっており、多くの家庭が格差と貧困で苦しんでいます。誰もが経済状況に左右されることなく安心して必要な医療を受けられるよう、中学卒業まで所得制限なく窓口完全無償化を実現することについて 6 公立小中学校の給食費の保護者負担を全額補助して無償にする市町村が全国で広がっています。学校給食法は食育の推進を掲げており、憲法第26条第2項は、「義務教育は、これを無償とする。」としています。本市で学ぶ全ての子どもたちが安心して学校給食を食べることができるよう、所得制限をなくし学校給食費の無償化を実現することについて 7 介護保険料が引き上げられ市民から悲鳴が上がっています。高すぎる介護保険料を引き下げて、誰もが安心して介護を受けることができるようにすることについて 8 沖縄防衛局は、今年3月31日に返還された米軍牧港補給地区の一部を土壌調査した結果、鉛と油が基準値を超えて検出されたことを発表しました。鉛は調査した80区画のうちの1区画で、土壌1キロあたり150ミリの基準値に対し、170ミリを確認。油臭・油分は土壌汚染対策法などで規定はないものの、45カ所で参考基準値を上回りました。また4月23日には、同地区内に放射性物質のストロンチウム90や発がん性物質のベンゼンなどが含まれている土壌が保管されていることが明るみとなりました。意見書や抗議決議を全会一致で

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	採択後、沖縄防衛局へ直接要請しましたが、この間、何ら返答がありません。市民やその代表である議会の声を軽視する米側の態度をこのまま放置し続けることは決して許されません。 (1) P C B及びD D Tや放射性物質など想定される有害物質の調査はされているか。 (2) 調査にかかった費用について (3) 返還と同時に土壌調査及び支障除去を完了させる考えを持っているか。 (4) 基地対策室を設置することについて
15 銘 莉 良 二	1 市長の政治姿勢 (1) 新知事との面談について 2 道路行政 (1) 県道251号線（宇地泊から伊祖間）の整備の進捗 (2) 同区間内の台風時における状況と安全対策 (3) 同区間内の生活道路の確保 3 福祉行政 (1) 高齢者対策について 4 経済行政 (1) 本市の産業構造の実状 (2) 市民の所得向上 5 指定管理者制度について
16 大 城 翼	1 J I S 認定ヘルプマーク導入について 2 中学生の制服リサイクル活動について 3 公民館と学童を併設することについて 4 屋外広告物条例を制定することについて 5 てだこホール芝生広場の有効活用について 6 コミュニケーションアプリ L I N E を活用した地域活性化について 7 浦添市の魅力を県内外に P R する観光大使を設置することについて
17 當 間 左知子	1 保育行政について (1) 認定こども園について伺います。幼保連携型認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、保護者が働いている、いないに関わらず利用できる施設と説明されていますが ①ここでいう幼稚園の機能とは何か、保育園の機能とは何かを伺います。 ②働いていない保護者はどのくらいいるのか伺います。 ③平成31年度園児募集について伺います。 ④保育教諭と幼稚園教諭の違いについて伺います。 (2) 主食費について伺います。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(3) 保育園の設備及び運営に関する基準として屋外遊技場を設けることとあり、園庭がない場合、保育所の付近にある屋外遊技場にかわるべき場所を含むとされ、近隣の公園がその対象となっていますが ①園庭が十分な広さでなく、屋外遊技場にかわるべき場所として近隣の公園を上げた保育園はあるのか伺います。 ②園庭があっても近隣の公園を園児の遊び場所として利用している保育園はどのくらいあるのか伺います。 ③保育園児が遊んでいる公園に除草剤は散布されていないか伺います。 (4) 保育士確保策について伺います。 2 教育行政について (1) 公立幼稚園の現在の預かり保育利用数について伺います。
18 伊 礼 研 一	1 市長の政治姿勢について (1) 市長の公務に対しての認識を伺う。 2 辺野古新基地建設の是非を問う県民投票について 3 市内の公園や広場などにおいて、農薬が散布されていたことについて 4 保育行政について (1) 自営業の白色申告をしている方が、保育所（園）入所選考の際、不利に扱われていることについて、前議会で部長は「基準の細分化も含めて検討してまいりたい」と答弁しているが、その検討結果と31年度選考に反映できるか伺う。 (2) 一人当たり100万円以上もの市の予算を投入し、県外からの保育士を確保する「保育士OK I N A W Aステイ計画」事業について ①半年もしないうちに3人も退職者が出たことについての見解を伺う。 ②前議会で、自己都合で退職した場合は返還義務を課すよう、規約の見直しを求めた。その際、部長は「規約の内容については今後検討させていただきたい」と答弁している。その後の検討結果を伺う。 (3) 市内保育園（所）の保育参観の実態について (4) 台風時の保育所、幼稚園の迎えの体制について (5) 学童保育について ①運営実態はどのようなになっているのか伺う。 ②厚生労働省の家賃補助のメニューを活用するよう幾度となく訴えてきたが、今まで補正予算が組まれていない。次年度に向けての取り組み状況を伺う。 5 グリーンハイツにある経塚調理場跡地の解体工事の進捗と跡地利用について 6 ユブシが丘トンネルの早期開通について 7 市民が使いやすいU字のごみ袋を製作することについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
19 比 嘉 武 宏	1 玉城デニー新知事の県政運営に対する松本市長の見解を伺います。 2 キャンプ・キンザー跡地返還の見通しについて伺います。 (1) 跡地利用推進法（沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法）等に照らしてどのような対応をしていくのか伺います。 (2) 区画整理する場合の土壌調査について 3 第5ゲート付近返還実施計画について 4 浦添市・泉州市友好都市締結30周年を契機にこれからの取り組みについて 5 浦添市指定管理者の公園への除草剤散布のその後の対応について
20 新 垣 有 太	1 子どもの貧困緊急対策事業について、次年度から国の補助率が全額補助から9割補助に変わる予定だが、その実情と今後の事業継続状況を伺う。 2 学童保育事業について (1) 現在の小学校区域別学童待機数を伺う。 (2) 2020年度（平成32年度）以降は児童1人当たり1.65㎡の面積基準とした場合、想定される小学校区域別学童待機数について伺う。 (3) 本市では、現在一括交付金を活用して1学童あたり月額上限5万円の家賃補助を実施しているが、なぜ国の事業メニュー（月額26万円の補助）を活用しないのか。また、国の事業メニューを活用した際、市が負担する予算がどれだけふえることが想定されるのか等を伺う。 (4) 放課後児童健全育成事業実施規程に浦添市学童保育連絡協議会への加入を義務づけようとしていたところ、加入していない団体から反対意見が出たことにより義務づけするかどうかは保留となったが、その後の状況について伺う。 3 水道事業の給水装置設置時の検査基準について (1) 浦添市では、水圧基準について毎分17.5キロを基準としており、例えば、那覇市など他市町村の基準（毎分10キロ）と比較して厳しい基準としている理由を伺う。 (2) 水道管についてもステンレス製を使用しなければならない理由を伺う。 4 米軍機飛行に伴う電波障害の実態調査の実施状況について伺う。 5 地元企業優先発注の基準について伺う。 6 ごみ収集の方法について、資源ごみが強風で飛ばされて散乱していることがある。資源ごみの出し方、収集方法を改善する必要があるのではないか見解を伺う。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	7 てだこ浦西駅周辺整備事業の進捗状況とモノレール車両増に伴う浦添市の負担等について伺う。 8 2020年度（平成32年度）から市の非正規職員が会計年度任用職員制度へと変わることについて、制度移行に伴う予算への影響等について伺う。 9 当山小学校過大規模校解消対策の進捗状況等について伺う。 10 フッ化物洗口について9月議会において調査研究を行っていくと答弁された。その進捗状況について伺う。
21 亀川 雅 裕	1 当山小学校分離新設校について 2 てだこ浦西駅の利活用について (1) 北部までの鉄軌道の起点、終点として推進することについて
22 真栄城 玄 誠	1 会計年度任用職員制度における地方公務員の臨時・非常勤職員等について 2 水道民営化について 3 浦添市・泉州市友好都市締結30周年記念事業について 4 浦添城跡の世界遺産登録について 5 児童センターについて (1) 児童センターの業務内容及び運営経費について (2) 内間児童センターの運営状況について 6 内間9号線道路改良工事の進捗状況について 7 自治会事務連絡員委託制度について 8 てだこ浦西駅周辺のまちづくりについて 9 ANA SPORTS PARK 浦添（浦添運動公園）の指定管理について
23 下 地 恵 典	1 西海岸開発について (1) 9月に実施された知事選と那覇市長選挙結果の及ぼす、西海岸開発事業進捗への影響の有無について、どのように考えているのか。 (2) 過去3回の3者協議では具体的に何を話し合い、何を確認し、何が確認できなかったのか。 (3) 3者協議で確認できなかった項目について、この間、当局は具体的にどのように取り組みをしてきたのか、これまでの経緯と現在の取り組みについて (4) 現在の状況を踏まえ、当局として西海岸開発の着手に至るまでの具体的スケジュールについて、どのように考えているのか。 (5) 浦添ふ頭地内の「地先主義」について、どのように考えているのか。 (6) 県知事、那覇市長から「テクニカルな部分もまだある。南・北の判断についてまだできる状況ではない。」とは具体的に何を指すのか。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	2 港湾計画改訂について (1) 那覇港長期構想検討委員会の現在の活動状況について (2) 委員会において、浦添市が提案した「南側案」についてどのような議論がなされているのか。 (3) 第3回那覇港長期構想検討委員会資料で示された、4つの那覇港の長期的な方向性の具体的な内容について (4) 現港湾計画では「国際トランシップ港湾として戦略的な中継コンテナ貨物の取り扱いの促進を図る。」としているが、その可能性について
24 上江洲 徹也	1 子どもを含む難聴・中途失聴者支援の取り組みについて (1) 市内の難聴・中途失聴者の人数、地域、年齢、障害者手帳所持の有無の把握について (2) 難聴・中途失聴者が補聴器購入する際の助成について (3) 公共施設へのヒアリングループ設置について (4) 学校施設へのヒアリングループ設置について (5) 市の行事での要約筆記サービスについて (6) 市の難聴・中途失聴者とのコミュニケーションの取り方について (7) 「きこえの問題」をテーマに職員研修の開催は可能か伺う。 2 防災、減災の取り組みについて (1) 避難所HUG（ハグ）の取り組みについて (2) 学校における防災訓練について (3) 自治会における防災訓練について (4) 要介護者、障がい者、高齢者の防災・減災の取り組みについて (5) NET119の取り組みについて 3 市民とともに育つ図書館づくりの取り組みについて 4 市立図書館とハーモニーセンターをつなぐ屋根つき連絡通路が設けられないか伺う。 5 学校現場と福祉行政の融合の取り組みについて (1) 子どもの貧困解消に向けて (2) 発達障がい児支援について (3) 若年妊産婦支援について 6 りうぼう大平店前の交差点に点滅信号が設置できないか伺う。 7 次年度の学童クラブにおける待機児童解消の取り組みについて 8 浦添城跡へのトイレの設置について
25 又 吉 謙一	1 市内へ体験型科学館を設置することについて 2 西海岸開発について 3 水道法改正について 4 ANA SPORTS PARK 浦添等へ除草剤を散布したことについて 5 勢理客地域の地滑りについて (1) これまで何度か質問したが地滑り工事完了後の状況について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
26 護得久 朝 文	1 神森小学校のプール改築の進捗状況について 2 小中学校の教室の状況について 3 指定管理者制度について 4 浦添市シルバー人材センター事業について 5 認可保育園への支援について 6 認定こども園について 7 学童保育の現状と支援強化について 8 てだこまつりについて (1) 今後の開催時期と内容について 9 基幹バス運行に伴う国道58号周辺地域の対応について 10 西海岸開発について
	以 上